

自律學習實踐研究会（第2回）お知らせ

- 時間：2018年10月27日 午前10時～午後1時
- 場所：東海大学 HT302 教室
- 参加を希望される方は <https://goo.gl/forms/rzMeW4m9cTKYKTPN2> からお申し込みください。



1. 10:10-11:30【ワークショップ】 講師 許均瑞先生（銘伝大学）
「自律学習を導く読本のためのグループ分け-学びあう空気作り-」
＜從讀本分組導向自律學習-相互學習氛圍之創造＞

自律学習を導くグループ分けはどのようにしたらいいのでしょうか。科目の性質、学生の性質、活動の性質によってどのようにグループをくんだらいいのか、参加者の皆さんと具体的に考えていきます。これまでご自分の実践でグループ分けがうまくいかなかった事例などがあれば、どのように改善できるか検討してみませんか。

如何從分組導向自律學習？本工作坊將與參加者一起具體探討，如何根據科目、學生及活動的性質來進行分組。敬邀大家可針對自己到目前為止，在分組上曾面臨的問題，共同來思考檢討解決改善的方法。

2. 11:40-12:20【発表】阿部康平（東海大学大学院）
「日本語回廊が目指した会話による相互的交流と、活動間の連携で見えてきた可能性」
＜日語迴廊所追求由對話帶來的相互交流，於活動時的合作所見到的可能性＞
3. 12:20-13:00 昼食をとりながら振り返り

自律学習実践研究会の第1回（2018-9-29）が終わりました。予想したとおり手ごたえのある発表で時間も足りなくなりました。三人の発表者と会に参加してくださった皆さんにあらためて感謝したいと思います。

最初の発表者である阿部公彦先生の発表は、国際バカロレアを導入した学校での第二外国語としての週2コマの日本語の授業で、レベル差が激しいことから一部の時間を使って生徒が学習内容を選択できるような時間を設けたという内容でした。機械的に課題をやってしまう学生もいて、後期はさらに選択肢に幅をもたせ、教師の提供する選択肢以外の選択も認めると、生徒たちの学習に変化が生まれたということです。

張瑜珊先生の発表は、日本人留学生、台湾人学生が協働で運営する日本語のトーク空間で、日本人留学生がどのような期待を持ってこの活動に参加しているのかをPAC分析を通して行った研究でした。大学院生の許筠靈さんは、内発的動機付けの重要性（『人を伸ばす力』）と学習計画・自己評価を繰り返す自学ランチの活動の活動、参加した学生の様子を話してくれました。

この会を立ち上げたのは、自律学習育成を目指した現場の先生たちの取り組みをシェアすること

で、定義も実践も間口の広い「自律学習」のさまざまな姿が見えてくるのではないかと思ったこと、孤軍奮闘している教師たちが実践を語り相談ができる場がほしかったこと、普通の学会発表ではできないような教育実践を検討する場を作りたいからです。

これからもこの小さな会で自律を目指した教育実践の紹介や研究発表を続けていきます。実践をシェアしたいという方はぜひご参加ください。来月の活動は以下のとおりです。乞うご期待！！

(工藤)

第一次自律学習時間研究会(2018-9-29)平安落幕。與當初預想相同，雖然時間不太足夠，卻是非常有意義的三小時。在此對三位演講者及參加這次會議的大家表示由衷的感謝。

第一位演講者阿部公彦老師介紹了導入國際文憑課程設計的學校，其第二外語課程，該課程每周有兩節課的時間，學生之間的日語程度參差不齊，因此在課程中抽出一些時間讓學生選擇自己的學習內容。但是前期這樣的課程設計，還是會有學生在進行課題時抱持著做完就好的心態，所以後期老師選擇將選擇擴大，除了教師所提供的選項以外，也承認學生自己所選的教材，這樣的課程使學生的學習開始產生變化。

張瑜珊老師的發表主題為由日本人留學生與台灣人學生共同經營的日語對話交流空間，透過PAC 分析研究日本人留學生抱持這怎麼樣的心境參加這個活動。本校碩士研究生的許筠靈則介紹了內源性動機的重要性(『人を伸ばす力』)以及定期的安排自己學習計畫、自我評量的自學午餐活動，並且展示了參加學生的成果。

創建本會是為了和養成能夠自律學習的學生而努力的個為教師分享個自的教學設計，不只能夠發現以各式各樣形式進行的「自律學習」，並且希望能夠與各位在自律學習教學這條路上孤軍奮鬥的教師們有一個能夠和大家一起精進、討論在一般的學術研討會無法討論的實踐教育。

接下來本會也會持續以介紹自律為主的教育實踐及研究發表為主要活動。希望各為想要分享自己實踐心得的各位請勢必踴躍參加。下個月的活動為以下所述。請各位盡請期待！

(翻譯 高誌鴻)

問い合わせは東海大学日本語言文化学系事務室 04-2359-0121 (内 31701~31703)

工藤研究室 04-2359-0121 (内 31707)